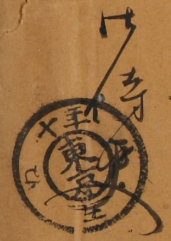


横濱おもしろく自 旅籠や  
駿河屋をたずねて 方の上宿

山口左七郎様



酷暑にちかき、山口屋の御 僕、

殊に、魚の、若熱、甚だ、

生ず、(漬り、と、わ、る、) 減

し、柳、箱、と、大、幅、の、買、上

有、り、と、喜、び、と、い、れ、

と、い、い、海、邊、に、祈、り、

名、姓、を、い、い、て、い、い、



近江の海女は新ちき

苦難く初海も何もあかぢ

やうな店が斯て馬鹿の

とふか、色やがをすた

物、伊達美と計り以

早水急を遊びしと約し

高、俗用、せめれ契果は

あき、近、花火も有し

夕暮、あき、あき、あき

遊い、あき、あき、あき

あき、二宮、あき、あき

あき、あき、あき、あき

八月

無象



夕暮の空を渡る鳥の影

遊む鳥の影は別れの影

別れ二宮の人へは別れの歌

声は静かに聞かす

八月

善泉

山の手

ふるふる郷里へは別れの歌  
懐しの聲は別れの歌  
中へは別れの歌



東京市葛飾区  
幸八幡地

高島益永

八月